

INDEX

- 1 中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」が発表されました！
- 2 2008年度FD委員会活動報告
- 3 2008年度 FD講演会を開催！

中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」が発表されました！

NEWS

1

この答申を受けて、甲南大学はどうすべきなのでしょう。高阪学長にお話をうかがいました。



学長 高阪 薫

1. 教育改革の実行にあたり、「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)(以下DP)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)(以下CP)、「入学受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)(以下AP)を明確に示すことが最も重要であり、それには大学の個性・特色が具体的に反映される。とされていますが、どのように考えておられますか。

これからは、学力も学習意欲も様々な者が入学してくると予想されるため、入試の段階で学生の質を分析し、それに対応するレベルに応じたカリキュラムを考える必要が出てきます。入学前教育、初年次教育の充実を考えた場合、甲南大学としては、一定水準の基礎学力を備えることと同時に「平生の教育理念」を教育方針の中心に据え、「天賦の才能を活かす個性尊重の教育」とエチケット・モラルを尊ぶ「徳育教育」により、個性豊かで健全な精神をもった人間力豊かな学生を育てないといけません。このような学生を育てるために、CP・DPでのカリキュラム改革を行います。また、各学部の独自性と甲南大学卒の「甲南ブランド」を身につけた学生を育てるために、甲南大学全体の教育のあり方をめぐって、どのような教育改革を行えばよいかを研究・実施・支援する組織「平生総合教育研究セン

ター(仮称)」を検討しています。

2. 答申で言及されているDP、CP、APの3つの方針のうち本学では特にどの分野に重点をおこうとお考えですか？

大学全体のDP・甲南ブランドを身につけた卒業生と、各学部のDP・独自の専門性を身につけた卒業生を明確にした上で、それに合った人材養成が出来るようにCPを構築する必要があると考えます。そこでは、1.リベラルアーツをいかに取り入れるか。2.専門教育における双方向型の教育の保証。3.学習ポートフォリオの利用や外部評価等を勘案して、各科目の目的・到達目標や評価基準を明確にし、DPに合う人材養成を行う必要があります。

3. 学士課程教育の実践と管理運営を担う教職員の資質と能力に負うところが極めて大きい。とFD、SDの重要性を述べていますが、どのようにすれば意識が高まると思われますか？

以前は、FDは個人の授業改善と思われるでしたが、大きく変化していく学生気質や学力問題等で個人では対応が非常に難しくなってきました。最近開催されたFD講演会には約100名の教職員が参加しました。年度末の忙しいなかこれだけの教職員が集まったことは、皆さんの危機意識が高く、FDへの関心は広がっていると思われれます。今後さらにFDに関する勉強会を実施し、学外の研修会に参加するなど、学内外の情報を共有し実践しあうことにより、教員・職員集団としてのFD・SDの意識を刺激し向上させることができるのではないのでしょうか。

2008年度 甲南大学FD委員会 委員

平松 関	委員長・副学長・大学企画室長
馬場 大治	教務部長
森元 勤治	広域副専攻センター所長
中里 英樹	文学部・人文科学研究科
柘植 隆宏	理工学部
黒田 忠史	経済学部・社会科学部・経済学専攻
黒田 謙介	法学部
廣山 秀敏	経営学部・社会科学部・経営学専攻
中易 秀敏	知能情報学部
宇都宮 弘章	自然科学研究科
藤原 三枝子	国際言語文化センター
山崎 俊輔	スポーツ・健康科学教育研究センター
西川 耕平	EBA 高等教育研究所
渡辺 頭修	法科大学院
家田 崇	会計大学院
石田 彰徳	教務部の専任職員管理職
楠田 直彦	大学企画室の専任職員管理職

(2009年2月現在)

2008年度FD委員会活動報告

NEWS

2

今年度FD委員会では、委員会内に以下の3つの分科会(企画・運営分科会、授業改善分科会、広報・情報分科会)をおき、本学のFDの課題により深く取り組めるよう体制を整えました。

●企画・運営分科会

かねてより、学習の成果を総合的に判断する指標としてGPA制度を試行実施していましたが、検討を重ねた結果、2009年度から本格的に実施することと決定しました。

また、2月20日には、学外から講師を招き、FD講演会を開催しました。

●授業改善分科会

次年度に向けて、より学生の意見を聴取できるように授業評価アンケートの質問項目を再検討し、名称も「授業改善アンケート」に改めました。

●広報・情報分科会

学内・学外に甲南大学のFD活動をもっと知っていただくために、FDホームページを開設し、研修会の情報や学内のFD活動への取り組みを紹介しています。

今後、FD委員会では積極的に教員への支援を行うとともに、大学全体でFD活動を共有できるよう体制作りを目指します。

2008年度 FD講演会を開催！

テーマ

「私立大学におけるFD活動
―学士課程教育の再編に向けて―」

講演

講師

山田礼子 氏

(同志社大学教育開発センター所長)

◆パネルディスカッション

パネリスト

山田礼子 氏

中里英樹 教授(文学部)

寺尾 建 教授(経済学部)

中村耕一 教授

(国際言語文化センター)

コーディネーター

廣山謙介 教授(経営学部)

FD委員会

では、2月20日

(金)14時50分

から511教

室において、同

志社大学教育

開発センター

所長の山田礼子先生をお迎えしてFD

講演会を開催しました。当日は、山田先

生による講演と、本学の教授3名と講師

によるパネルディスカッションを行い、

多くの会議が続くなかでの開催にもか

かわらず、90名を超える教職員が参加

しました。

山田先生からは「同志社大学における

教育の質の保証について―教育開発セン

ターの役割から―」と題して、約1時間に

わたって、貴重な体験を含めて語って

いただきました。同志社大学は、いち早く



2004年度に「教育開発センター」を立ち上げており、センターを中心とした大学を挙げての先導的なFD活動の事例、IR (Institutional Research) の実施、今後の課題などの報告は、大変参考になるものであり、甲南大学のFD活動における今後の歩みを奮い立たせるものでした。

続いてのパネルディスカッションでは、コーディネーターのもと、パネリストから甲南大学での「導入教育」の実践例が報告され、山田先生を中心にフロアとの質疑応答・ディスカッションが行われました。日頃、他の学部・学科等の教育内容や実践に接することの少ない教職員には、文学部、経済学部、国際言語文化センターの先進的な報告は、大いなる刺激となり、アンケートにもそうした声が多くありました。

講演会終了後の情報交換会も多くの教職員で賑わい、活発な意見交換がなされました。今回の講演会を受け、今後の甲南大学におけるFD活動について、大学全体で考えるよい機会となりました。

(FD委員会委員長 平松 園)



FD講演会に参加して―お2人の先生に感想をいただきました―



経済学部
教授
寺尾 建

FDとは、全教職員 (faculty) による取り組みであるということ再認識しました。たとえば、入試のように、個人の能力を超えていることが明らかな問題に対しては、全教職員は組織的に取り組みます。「教育」もまた、個人の能力を超えた問題であると考え、そこから出発するべきなのではないか―そのような感想を抱きました。



広域副専攻センター
所長
森元 勘治

同志社大学の山田礼子先生に、教育開発センターの設置や活動について講演していただきました。特に、学士課程教育の質をどのように保証するかという点に関して、入り口、中身、出口における保証実践と今後の課題について講演をしていただき、甲南大学における今後のFD活動について、良き指針となるものでした。

FDニュースへのご意見・ご感想をお聞かせください。

〔お問合せ先〕
大学企画室
TEL078-435-2663(内線2810)
FAX078-435-2306
kikaku@adm.konan-u.ac.jp

FD図書のご案内

★おすすめ本ベスト3



初年次教育
ハンドブック
―学生を「成功」に導くために―
山田 礼子 著
丸善株式会社



高等教育シリーズ107
大学授業の
生態誌
―「要領よく」生きよと
とする学生―
島田 博司 著
玉川大学出版部



ベスト
プロフェッサー
ケン・ペイン 著
高橋 靖直 訳
玉川大学出版部

その他にもFDに関する図書を大学企画室にて貸出しています。どうぞお気軽にご利用ください。

約100冊あります！詳細はお問合わせください。